

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7672467号
(P7672467)

(45)発行日 令和7年5月7日(2025.5.7)

(24)登録日 令和7年4月24日(2025.4.24)

(51)国際特許分類

F I

A 4 4 C 5/18 (2006.01)

A 4 4 C 5/18 F

A 4 4 B 11/06 (2006.01)

A 4 4 B 11/06

請求項の数 14 外国語出願 (全11頁)

(21)出願番号	特願2023-186202(P2023-186202)	(73)特許権者	591048416
(22)出願日	令和5年10月31日(2023.10.31)		ウーテアー・エス・アー・マニファク
(65)公開番号	特開2024-91441(P2024-91441A)		チュール・オロロジェール・スイス
(43)公開日	令和6年7月4日(2024.7.4)		スイス国・シーエイチ 2 5 4 0・グレ
審査請求日	令和5年10月31日(2023.10.31)		ンヒエン・シルト・ルスト・シュトラ
(31)優先権主張番号	22216204.2		セ・1 7
(32)優先日	令和4年12月22日(2022.12.22)	(74)代理人	100098394
(33)優先権主張国・地域又は機関	欧州特許庁(EP)		弁理士 山川 茂樹
		(72)発明者	アドリアン・ケラー
			スイス国・2 0 0 0・ヌーシャテル・フ
			オブール ドゥ ロピタル・5 6
		(72)発明者	パウロ・ブラーボ
			スイス国・2 0 7 4・マラン・エパニエ
			・シュマン デュ ヴェルジェ・アン・ジ
			ヨラン・4

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 プレスレット留め金

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

その第1の長辺および第2の長辺がそれぞれ第1のスパーク（1）および第2のスパーク（2）で形成されるベース要素（10）と、前記ベース要素（10）の第1の短辺および／または第2の短辺上でピボット可能で、関節でつながれた少なくとも1つのリーフレット（3、4）と、前記少なくとも1つのリーフレット（3、4）上でピボットし、関節でつながれた少なくとも1つのカバー（5、6）とを備える折畳み留め金タイプのプレスレット留め金であって、前記少なくとも1つのカバー（5、6）は、前記ベース要素（10）の上に折り畳まれ、前記ベース要素（10）および前記少なくとも1つのカバー（5、6）に影響を及ぼして、前記少なくとも1つのカバー（5、6）を前記ベース要素（10）に引っ掛け、次に外すことができるボルト締めおよびボルト締め解除機構と結合された撓み部材に応答してその上に維持されるようになされる、プレスレット留め金において、前記ベース要素（10）が、前記第1のスパーク（1）および第2のスパーク（2）に結合された第1の開口（11）および第2の開口（12）を備え、したがってそれらが前記撓み部材を構成し、前記第1のスパーク（1）および第2のスパーク（2）の各々に、前記留め金に対して横方向に同時に圧力が加えられると、前記第1のスパーク（1）および第2のスパーク（2）が弾性変形し、前記ベース要素（10）の前記少なくとも1つのカバー（5、6）のボルト締めを解除して、着用者が前記留め金を開くことを可能にし、前記ベース要素（10）は、前記着用者の手首と相対するように配置される面をさらに備え、前記第1のスパーク（1）及び第2のスパーク（2）は、前記面と一体的に形成されることを特徴とするブ

レスレット留め金。

【請求項 2】

前記ボルト締めおよびボルト締め解除機構が、前記少なくとも 1 つのカバー（ 5、 6 ）が保持する少なくとも第 1 のフック（ 1 5 ）および第 2 のフック（ 1 6 ）を備え、前記少なくとも第 1 のフック（ 1 5 ）および第 2 のフック（ 1 6 ）が、それぞれ前記第 1 のスパー（ 1 ）および第 2 のスパー（ 2 ）が保持する少なくとも第 1 のボルト（ 1 3 ）および第 2 のボルト（ 1 4 ）上でクリップされるようになされることを特徴とする、請求項 1 に記載の留め金。

【請求項 3】

前記第 1 のスパー（ 1 ）および第 2 のスパー（ 2 ）が、それぞれ第 1 のプッシュピース（ 7 ）および第 2 のプッシュピース（ 8 ）を保持することを特徴とする、請求項 2 に記載の留め金。

10

【請求項 4】

前記第 1 のボルト（ 1 3 ）および第 3 のボルト（ 1 3 ' ）が前記第 1 のプッシュピース（ 7 ）の両側に置かれ、前記第 2 のボルト（ 1 4 ）および第 4 のボルト（ 1 4 ' ）が前記第 2 のプッシュピース（ 8 ）の両側に置かれる、請求項 3 に記載の留め金。

【請求項 5】

前記第 1 の開口（ 1 1 ）および第 2 の開口（ 1 2 ）が、前記ベース要素（ 1 0 ）の長さより短く、また、前記第 1 のプッシュピース（ 7 ）および第 2 のプッシュピース（ 8 ）および前記第 1 のボルト（ 1 3 ）および第 2 のボルト（ 1 4 ）の全体の長さより長い長さを有する、請求項 3 に記載の留め金。

20

【請求項 6】

前記第 1 のボルト（ 1 3 ）、第 2 のボルト（ 1 4 ）、第 3 のボルト（ 1 3 ' ）および第 4 のボルト（ 1 4 ' ）、ならびに前記第 1 のプッシュピース（ 7 ）および第 2 のプッシュピース（ 8 ）が前記ベース要素（ 1 0 ）とワンピースの要素を形成する、請求項 3 に記載の留め金。

【請求項 7】

前記留め金が、前記第 1 のプッシュピース（ 7 ）および第 2 のプッシュピース（ 8 ）の最大移動を制限するために、また、塑性変形閾値を超えないよう、前記第 1 のスパー（ 1 ）および第 2 のスパー（ 2 ）の変形を制限するために、前記第 1 のスパー（ 1 ）および第 2 のスパー（ 2 ）の上に配置され、前記第 1 のプッシュピース（ 7 ）および第 2 のプッシュピース（ 8 ）に圧力が加えられるとリブ（ 1 7、 1 8 ）と協働するようになされた支持要素（ 7 '、 8 ' ）を備えることを特徴とする、請求項 3 に記載の留め金。

30

【請求項 8】

前記リブ（ 1 7、 1 8 ）が前記ベース要素（ 1 0 ）と一体であり、前記第 1 の開口（ 1 1 ）および第 2 の開口（ 1 2 ）の直ぐ近くに形成されることを特徴とする、請求項 7 に記載の留め金。

【請求項 9】

前記支持要素（ 7 '、 8 ' ）が前記第 1 のスパー（ 1 ）および第 2 のスパー（ 2 ）と一体であり、前記第 1 のプッシュピース（ 7 ）および第 2 のプッシュピース（ 8 ）の背面に置かれることを特徴とする、請求項 7 に記載の留め金。

40

【請求項 10】

前記支持要素（ 7 '、 8 ' ）が、それぞれ、前記留め金の内側に向かって配向された下部傾斜平面（ 8 0、 8 1 ）を有し、前記下部傾斜平面（ 8 0、 8 1 ）が前記リブ（ 1 7、 1 8 ）と協働するようになされることを特徴とする、請求項 7 に記載の留め金。

【請求項 11】

前記支持要素（ 7 '、 8 ' ）が、それぞれ、前記留め金の外側に向かって配向され、前記カバー（ 5、 6 ）と協働するようになされた上部傾斜平面（ 8 2、 8 3 ）を備えることを特徴とする、請求項 7 に記載の留め金。

【請求項 12】

50

前記ベース要素（１０）、前記リーフレット（３、４）、ならびに前記カバー（５、６）がセラミック充填塑性材料でできている、請求項１に記載の留め金。

【請求項１３】

前記カバー（５、６）は、第１のカバー（５）及び第２のカバー（６）を含み、ブレスレットのストランドまたはリンクが前記第１のカバー（５）の複数の端部（５０）のうちの１つに固定されること、また、前記ブレスレットのストランドまたはリンクが前記第２のカバーの複数の端部（６０）のうちの１つに固定されることを特徴とする、請求項１に記載の留め金。

【請求項１４】

単一のストランドが前記第１のカバー（５）の前記複数の端部（５０）のうちの１つ、および前記第２のカバー（６）の前記複数の端部（６０）のうちの１つに固定されることを特徴とする、請求項１３に記載の留め金。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、２つのリーフレットを装着したものであれ、あるいは単一のリーフレットを装着したものであれ、折畳み留め金タイプの留め金の分野に関し、この、またはこれらのリーフレットは、ベース要素上で関節でつながれている。

【背景技術】

【０００２】

20

折畳みバックル・タイプの留め金は従来技術で知られており、前記留め金は、その第１の長辺および第２の長辺がそれぞれ第１のスパーおよび第２のスパーで形成される実質的に長方形のベース要素と、前記ベース要素の第１の側および第２の側でピボット可能で、関節でつながれた第１のリーフレットおよび第２のリーフレットとを備え、前記リーフレットは、前記ベース要素の上に折り畳まれ、前記ベース要素および前記リーフレットに影響を及ぼして、それぞれ前記第１のリーフレットおよび第２のリーフレットを前記ベース要素に引っ掛け、次に外すことができるボルト締めおよびボルト締め解除機構と結合された弾性デバイスに応答してその上に維持されるようになされている。

【０００３】

文献ＥＰ１９２５２２７は、ベースで形成された留め金、およびベースの上に折り畳まれ、１つまたは２つのコイルばねから構成された弾性デバイスに応答してその上に維持されるようになされた２つのリーフレットを開示している。

30

【０００４】

この、またはこれらのばねを回避し、留め金の構造を単純にするために、文献ＣＨ７０３２９４は、２つのリーフレットを折り込み、ベース要素を形成しているスパーに含まれる弾性の作用によって引っ掛けられた状態を維持することができるベース要素から構成された留め金を提案している。スパーと一体で形成されたプッシュピースを押すことにより、リーフレットが何らかの引っ掛けから解放され、留め金を開くことができる。

【０００５】

文献ＣＨ７０３２９４によって提案されている解決法では、ベース要素に対する良好な構造的剛性を保証することができず、その一方で、ベース要素を形成しているスパーに、リーフレットをベース要素の上に適切に保持するために必要な弾性を付与し、また、前記スパーに力が加えられた際の前記リーフレットの解放を許容している。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００６】

【文献】ＥＰ１９２５２２７

【文献】ＣＨ７０３２９４

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

50

【 0 0 0 7 】

本発明の目的は、とりわけ、従来技術の留め金の様々な欠点を克服することである。

【 0 0 0 8 】

より詳細には、本発明の目的は、構造が単純で、信頼性が高く、その一方で不本意な開きを回避する良好な剛性を有する留め金を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 9 】

そのために、本発明は、その第 1 の長辺および第 2 の長辺がそれぞれ第 1 のスパーおよび第 2 のスパーで形成されるベース要素と、ベース要素の第 1 の短辺および / または第 2 の短辺上でピボット可能で、関節でつながれた少なくとも 1 つのリーフレットと、少なくとも 1 つのリーフレット上でピボットし、関節でつながれた少なくとも 1 つのカバーとを備える折畳み留め金タイプのプレスレット留め金に関し、少なくとも 1 つのカバーは、ベース要素の上に折り畳まれ、ベース要素および少なくとも 1 つのカバーに影響を及ぼして、少なくとも 1 つのカバーをベース要素に引っ掛け、次に外すことができるボルト締めおよびボルト締め解除機構と結合された撓み部材に応答してその上に維持されるようになされている。

10

【 0 0 1 0 】

本発明によれば、ベース要素は、第 1 のスパーおよび第 2 のスパーに結合された第 1 の開口および第 2 の開口を備え、したがってそれらは撓み部材を構成し、スパーの各々に、留め金に対して横方向に同時に圧力が加えられると、スパーが弾性変形し、ベース要素の少なくとも 1 つのカバーのボルト締めに解除して、着用者が留め金を開くことを可能にする。

20

【 0 0 1 1 】

本発明の他の有利な変形形態によれば、

- ボルト締めおよびボルト締め解除機構は、少なくとも 1 つのカバーが保持する少なくとも第 1 のフックおよび第 2 のフックを備え、少なくとも第 1 のフックおよび第 2 のフックは、それぞれ第 1 のスパーおよび第 2 のスパーが保持する少なくとも第 1 のボルトおよび第 2 のボルトでクリップされるようになされている。

- 第 1 のスパーおよび第 2 のスパーは、それぞれ第 1 のプッシュピースおよび第 2 のプッシュピースを保持する。

30

- 第 1 のボルトおよび第 3 のボルトが第 1 のプッシュピースの両側に互いに隣り合って置かれ、また、第 2 のボルトおよび第 4 のボルトが第 2 のプッシュピースの両側に置かれている。

- 第 1 の開口および第 2 の開口は、ベース要素の長さより短く、また、プッシュピースおよびボルトの全体の長さより長い長さを有している。

- 第 1 のボルト、第 2 のボルト、第 3 のボルトおよび第 4 のボルト、ならびに第 1 のプッシュピースおよび第 2 のプッシュピースは、ベース要素とワンピースの要素を形成している。

- 留め金は、プッシュピースの最大移動を制限するために、また、塑性変形閾値を超えないよう、スパーの変形を制限するために、スパーの上に配置され、プッシュピースに圧力が加えられるとリブと協同するようになされた支持要素を備えている。

40

- リブはベース要素と一体であり、開口の直ぐ近くに形成されている。

- 支持要素はスパーと一体であり、プッシュピースの背面に置かれている。

- 支持要素は、それぞれ、留め金の内側に向かって配向された下部傾斜平面を有し、下部傾斜平面はリブと協同するようになされている。

- 支持要素は、それぞれ、留め金の外側に向かって配向され、カバーと協同するようになされた上部傾斜平面を備えている。

- ベース要素、第 1 のリーフレットおよび第 2 のリーフレット、ならびに第 1 のカバーおよび第 2 のカバーはセラミック充填塑性材料でできている。

- 第 1 のカバーの複数の端部のうちの 1 つはプレスレットの第 1 のストランドまたは

50

リンクに固定され、また、第２のカバーの複数の端部のうちの１つはブレスレットの第２のストランドまたはリンクに固定されている。

【００１２】

本発明は、本発明による留め金を装着したブレスレットに同じく関している。

【００１３】

本発明の他の特徴および利点は、添付の図面を参照してなされる、非限定例として与えられている以下の詳細な説明を読めば明らかになるであろう。

【図面の簡単な説明】

【００１４】

【図１】本発明の第１の実施形態による留め金の分解斜視上面図である。

10

【図２】本発明の第１の実施形態による留め金の分解斜視底面図である。

【図３】閉位置における本発明の第１の実施形態による留め金の上面図である。

【図４】図３の線Ｂ－Ｂに沿った本発明の第１の実施形態による留め金の断面図である。

【図５ａ】本発明の第１の実施形態による留め金の内部の詳細図である。

【図５ｂ】本発明の第１の実施形態による留め金の外部の詳細図である。

【図６】本発明の第２の実施形態による留め金の分解斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【００１５】

図１および図２は、折畳み留め金タイプのブレスレット留め金の分解斜視図である。

【００１６】

20

以下の説明では、下部部分という用語は、留め金のうちの、着用者の手首と対するようになされた部分を意味しており、また、上部部分という用語は、留め金のうちの、着用者が外部からアクセスすることができるようになされた部分を意味している。

【００１７】

留め金は実質的に長方形のベース要素１０を備えている。図示されているように、ベース要素１０は、着用者の手首の曲率に適合するよう、僅かな曲率を有している。

【００１８】

ベース要素１０は、それぞれ第１のスパ－１および第２のスパ－２によって形成された第１の長辺および第２の長辺を備えている。留め金は、第１のリーフレット３および第２のリーフレット４を同じく備えており、これらは、第１のバー２０および第２のバー２１の周りで、ベース要素１０のそれぞれ第１の短辺および第２の短辺上にピボット可能に取り付けられており、かつ、関節でつながれている。

30

【００１９】

リーフレット３および４は、ベース要素１０の上、より詳細には図４に示されているようにベース要素１０の内側に折り畳まれるようになされている。

【００２０】

留め金は、カバーと一体の接続要素５１、６１を貫通しているバー２２、２３の周りで、それぞれ第１のリーフレット３および第２のリーフレット４上でピボット可能で、関節でつながれた第１のカバー５および第２のカバー６をまた備えており、カバー５および６はベース要素１０の上に折り畳まれるようになされている。

40

【００２１】

カバー５および６は、ベース要素１０およびカバー５、６に影響を及ぼして、それぞれ第１のカバー５および第２のカバー６をベース要素１０に引っ掛け、次に外すことができるボルト締めおよびボルト締め解除機構と結合された弾性デバイスにตอบสนองしてベース要素１０上の折畳み位置に維持されている。

【００２２】

本発明によれば、ベース要素１０は、第１のスパ－１および第２のスパ－２に結合され、かつ、第１のスパ－１および第２のスパ－２のベースに配置された第１の開口１１および第２の開口１２を備えている。

【００２３】

50

これらの開口 1 1、1 2 のおかげでスパー 1、2 は撓み部材を形成しており、スパー 1、2 の各々に同時に圧力が加えられると、スパー 1、2 が弾性変形し、ベース要素 1 0 のカバー 5、6 のボルト締めを解除する。

【 0 0 2 4 】

図 1 および図 2 に示されているように、開口 1 1、1 2 は横長の形を有しており、ベース要素 1 0 中へのそれらの機械加工を容易にしている。長方形、円形、長円形または他の楕円形などの他の形も明らかに実現可能である。

【 0 0 2 5 】

ボルト締めおよびボルト締め解除機構は、それぞれ、第 1 のカバー 5 および第 2 のカバー 6 をベース要素 1 0 に引っ掛け、また、第 1 のカバー 5 および第 2 のカバー 6 をベース要素 1 0 から外すために実装されている。図 1 および図 2 から分かるように、ボルト締めおよびボルト締め解除機構は、第 1 のカバー 5 が保持する第 1 のフック 1 5 および第 2 のフック 1 6、および第 2 のカバー 6 が保持する第 3 のフック 1 5 ' および第 4 のフック 1 6 ' を備えており、第 1 のフック 1 5 および第 2 のフック 1 6 は、それぞれ、第 1 のスパーおよび第 2 のスパー 1、2 が保持する互いに反対側の第 1 のボルト 1 3 および第 2 のボルト 1 4 によってボルト締めされるようになされており、また、第 3 のフック 1 5 ' および第 4 のフック 1 6 ' は、それぞれ、同じく第 1 のスパーおよび第 2 のスパー 1、2 が保持する互いに反対側の第 3 のボルト 1 3 ' および第 4 のボルト 1 4 ' によってボルト締めされるようになされている。

【 0 0 2 6 】

ボルト 1 3、1 3 ' および 1 4、1 4 ' は、ワンピース要素を形成し、より剛直な留め金を得るために、ベース要素 1 0 の第 1 のスパーおよび第 2 のスパー 1、2 の上にそれぞれ成形されている。これらのボルトはスパー 1、2 の上部部分に配置されていることが好ましい。

【 0 0 2 7 】

スパー 1 および 2 の各々に同時に加えられる横方向の圧力は、相俟って、ボルト 1 3 および 1 4 ならびにボルト 1 3 ' および 1 4 ' に、それぞれ、第 1 のカバー 5 と一体のフック 1 5 および 1 6、および第 2 のカバー 6 と一体のフック 1 5 ' および 1 6 ' を解放させることは理解されよう。次に留め金が開かれる。スパーの各々に加えられる手動アクションを促進するために、第 1 のプッシュピース 7 および第 2 のプッシュピース 8 がそれぞれ第 1 のスパー 1 および第 2 のスパー 2 の上に固定されている。

【 0 0 2 8 】

本発明によれば、ボルト 1 3、1 3 ' および 1 4、1 4 ' は、図 5 b で見ることもできるように、展開する輪郭を有している。ボルトの厚さは、ボルトがプッシュピース 7 および 8 から離れるにつれて徐々に薄くなる。このような構造により、スパーの変形を補償することができ、プッシュピースから離れる方向の移動を少なくする。

【 0 0 2 9 】

図 4 で観察することができるように、リブ 1 7、1 8 はベース要素 1 0 の上に、開口 1 1、1 2 の直ぐ近くに形成されている。これらのリブ 1 7、1 8 により、一方ではベース要素 1 0 を硬くすることができ、また、他方では、スパーが変形して留め金のボルト締めを解除する際のスパー 1、2 のためのストップを形成することができる。

【 0 0 3 0 】

さらに、支持要素 7 '、8 ' が、プッシュピースの背面の、留め金の内側に面しているスパーの部分に配置されている。これらの支持要素 7 '、8 ' は、プッシュピース 7、8 に圧力が加えられると、リブ 1 7、1 8 と協同するようになされている。支持要素およびスパー 1、2 がリブ 1 7、1 8 と協同することにより、プッシュピースの最大移動の範囲を定めることができ、また、それと同時に、スパー 1、2 の塑性変形閾値を超えないよう、それらの変形を制限することができる。着用者がプッシュピース 7、8 を押すと、スパー 1、2 が変形して、スパーの下部垂直フランクがベース要素 1 0 のリブ 1 7、1 8 に寄り掛かり、リブ 1 7、1 8 の垂直フランクがストップとして作用する。

10

20

30

40

50

【 0 0 3 1 】

支持要素 7'、8' は、それぞれ、留め金の内側に向かって配向された下部傾斜平面 8 0、8 1 を有し、下部傾斜平面 8 0、8 1 は、スパーの変形を導いて、スパーのねじれを防止するために、リブ 1 7、1 8 の上部部分と協同するようになされていることにまた留意されたい。

【 0 0 3 2 】

また、支持要素 7'、8' により、カバー 5、6 は、留め金が開くとベース要素 1 0 から離れる方向に移動することができ、支持要素 7'、8' は、留め金の外側に向かって配向され、カバー 5、6 と協同するようになされた上部傾斜平面 8 2、8 3 を備えている。着用者がプッシュピース 7、8 を押すと、スパー 1、2 が変形し、カバーがボルトから解放され、支持要素 7'、8' の上部傾斜平面 8 2、8 3 がカバーをベース要素 1 0 の外側に向かって徐々に導く。

10

【 0 0 3 3 】

第 1 のプッシュピース 7 および第 2 のプッシュピース 8 も同じく第 1 のスパー 1 および第 2 のスパー 2 の上に成形され、ボルト 1 3、1 3' および 1 4、1 4' の個々の対の間に置かれている。

【 0 0 3 4 】

有利には、第 1 の開口 1 1 および第 2 の開口 1 2 は、ベース要素 1 0 の長さより短く、また、プッシュピースおよびボルトの全体の長さより長い長さを有している。このような構成により、偶然に開く危険を少なくすることができ、その一方で、着用者が留め金を開くことを希望した場合に、留め金のボルト締めを容易に解除するためのスパー 1、2 の十分な弾性変形を許容することができる。

20

【 0 0 3 5 】

留め金をボルト締めするために、着用者は、フック 1 5、1 6、1 5'、1 6' とボルト 1 3、1 4、1 3'、1 4' を係合させるべく、カバー 5、6 をベース要素 1 0 に向かって折り畳む。ボルトは、ボルト上へのフックの係合を容易にするために傾斜を有しており、したがってベース要素 1 0 上を漸進的にカバーを導くことができ、次に、カバー 5、6 がベース要素 1 0 に押し付けられると、スパー 1、2 を漸進的に変形させて押し戻すことができる。

【 0 0 3 6 】

フックがボルト上に係合され、すなわちクリップされると、スパー 1、2 はそれらの休止位置に戻り、カバー 5、6 がベース要素 1 0 の上にボルト締めされる。フックをボルトの上にクリップすることにより、留め金を閉じると着用者が知覚することができるノッチを得ることができ、留め金が適切にボルト締めされていることを保証することができる。

30

【 0 0 3 7 】

図には示されていないが、プレスレットの第 1 のストランドまたは第 1 のリンクは、第 1 のカバー 5 の複数の端部 5 0 のうちの 1 つに固定されていること、また、プレスレットの第 2 のストランドまたは第 2 のリンクは、第 2 のカバー 6 の複数の端部 6 0 のうちの 1 つに固定されていることは言うまでもない。

【 0 0 3 8 】

留め金を構成している様々な要素は、塑性材料、好ましくはセラミック粒子が充填された塑性材料でできている。

40

【 0 0 3 9 】

留め金を製造するための他の材料として、例えば金属または金属合金なども可能である。

【 0 0 4 0 】

当業者であれば、図 6 に示されている単一のリーフレットおよび単一のカバーを有する同様の留め金を使用するのは特に難しくないであろう。

【 0 0 4 1 】

図 6 に示されているこの実施形態によれば、留め金は、それぞれ第 1 のスパー 1 および第 2 のスパー 2 によって形成された第 1 の長辺および第 2 の長辺を備えたベース要素 1 0

50

を備えている。留め金は、バー 20 の周りで、ベース要素 10 の第 1 の短辺または第 2 の短辺上にピボット可能に取り付けられ、かつ、関節でつながれたリーフレット 3 を備えている。

【0042】

リーフレット 3 は、ベース要素 10 の上、より詳細にはベース要素 10 の内側に折り畳まれるようになされている。

【0043】

留め金は、カバーと一体の接続要素を貫通しているバー 22 の周りで、リーフレット 3 上でピボット可能で、関節でつながれたカバー 5 も備えており、カバー 5 はベース要素 10 の上に折り畳まれるようになされている。ストランドまたはリンクはベース要素 10 に固定され、また、別のストランドまたはリンクはカバーの複数の端部 50 のうちの 1 つに固定されている。

【0044】

カバーは、ベース要素 10 およびカバーに影響を及ぼして、カバーをベース要素 10 に引っ掛け、次に外すことができるボルト締めおよびボルト締め解除機構と結合された弾性デバイスに応答してベース要素 10 上の折畳み位置に維持されている。

【0045】

ボルト締めおよびボルト締め解除機構は、カバーが保持する少なくとも第 1 のフック 15 および第 2 のフック 16 を備えており、第 1 のスパーおよび第 2 のスパー 1、2 が保持する互いに反対側の第 1 のボルト 13 および第 2 のボルト 14 によってそれぞれボルト締めされるようになされている。ボルト締め機構は、それぞれ、第 1 の縦方向のスパーおよび第 2 の縦方向のスパー 1、2 が保持する互いに反対側の第 3 のボルト 13' および第 4 のボルト 14' によってボルト締めされるようになされた第 3 のフック 15' および第 4 のフック 16' を同じく備えている。

【0046】

本発明は、本発明による留め金を装着したプレスレットに同じく関している。

【0047】

本発明は、本発明による留め金を装着した時計に同じく関している。

【符号の説明】

【0048】

- 1 第 1 のスパー
- 2 第 2 のスパー
- 3 第 1 のリーフレット
- 4 第 2 のリーフレット
- 5 第 1 のカバー
- 6 第 2 のカバー
- 7 第 1 のプッシュピース
- 8 第 2 のプッシュピース
- 7'、8' 支持要素
- 10 ベース要素
- 11 第 1 の開口
- 12 第 2 の開口
- 13 第 1 のボルト
- 13' 第 3 のボルト
- 14 第 2 のボルト
- 14' 第 4 のボルト
- 15 第 1 のフック
- 15' 第 3 のフック
- 16 第 2 のフック
- 16' 第 4 のフック

10

20

30

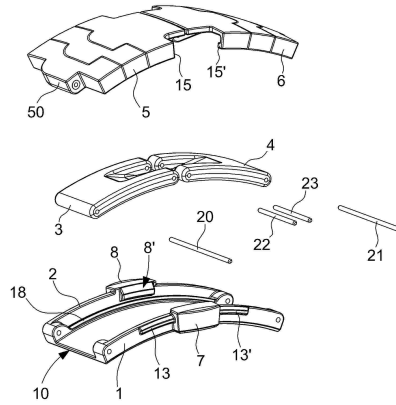
40

50

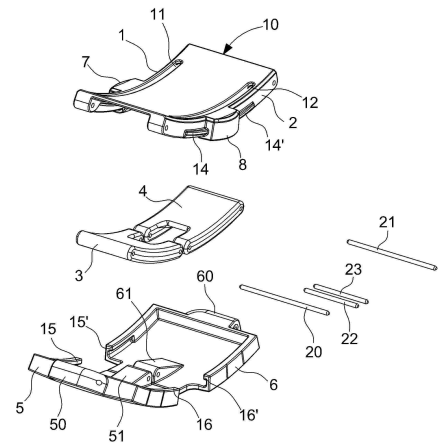
- 17、18 リブ
 20 第1のバー
 21 第2のバー
 22、23 バー
 50 第1のカバーの端部
 60 第2のカバーの端部
 51、61 接続要素
 80、81 下部傾斜平面
 82、83 上部傾斜平面

【図面】

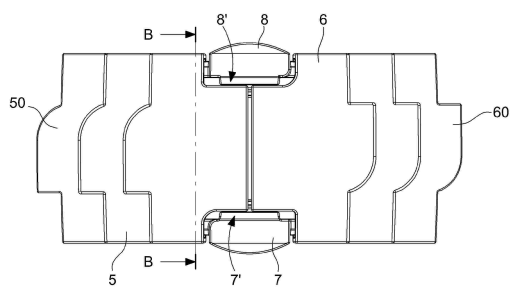
【図1】



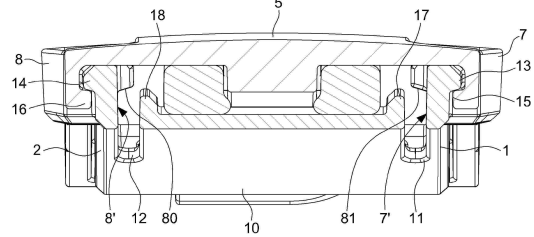
【図2】



【図3】



【図4】



10

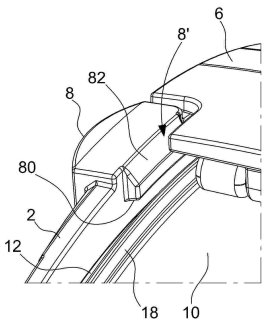
20

30

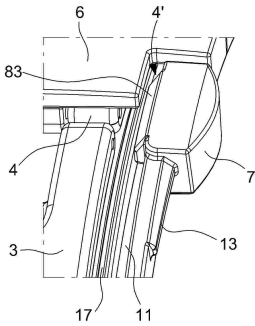
40

50

【図 5 a】

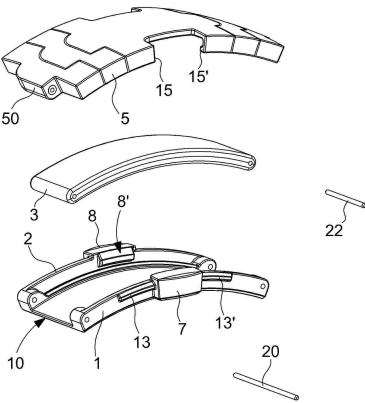


【図 5 b】



10

【図 6】



20

30

40

50

フロントページの続き

(72)発明者 ティム・グロージャン

スイス国・２５０２・ピエンヌ・ヤーコブ・シュテンプフリー・１１８

審査官 東 勝之

(56)参考文献 特開昭６３－０６５８０２（ＪＰ，Ａ）

中国特許出願公開第１０３０９６７５２（ＣＮ，Ａ）

特開平１０－１９２０１５（ＪＰ，Ａ）

国際公開第２０２０／２２５６５４（ＷＯ，Ａ１）

仏国特許出願公開第０２７８２２５０（ＦＲ，Ａ１）

中国特許出願公開第１０９９６５４６４（ＣＮ，Ａ）

(58)調査した分野 (Int.Cl.，ＤＢ名)

A 4 4 C 5 / 1 8

A 4 4 C 5 / 2 4

A 4 4 B 1 1 / 0 6